




こどもたちの未来のために…

ありがとうの 
手紙 てがみ コンテスト 2014

最優秀作品賞

受賞作品集

ご報告にあたって

私たちファミリーマートは、お客さまにとっての“ファミリー(家族)のひとり”として、
社会の変化に注視し、時代のニーズに合致した「より良い生活」を提供し続けること、
それが社会的使命であり、存在価値であると認識しております。

この「ありがとうの手紙コンテスト」は、より良い社会の実現を目指して地域社会とともに未来を担う
子どもたちの豊かな感性を育てることを目的として2009年より実施しております。

また、オリジナル商品である「おむすび」にベルマークを貼付し、学校設備の充実にお役立ていただくことをはじめ、
「ファミリーマート グローバル子ども募金」を通じ、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと
協働で子ども支援に取り組み、ファミリーマートのある地域・国での「子ども支援」に取り組んでおります。

2014年度、第6回目の本コンテストには、43,139通のご応募をいただきました。
学校の授業や宿題の題材としてご活用いただいたことを、諸先生方、保護者の皆様に深く感謝しますと同時に、
本コンテストの社会的意義を改めて感じております。

ご応募いただいた子どもたちの作品には、人と人との「つながり」を大切にしようという思いや、
家族、友人、先生、地域の方々、そして毎日使うものや自然への感謝の気持ちを表した作品が多数ございました。
本コンテストを通じて普段はなかなか伝えられない「ありがとう」の気持ちを手紙という形で表現し、
伝えるきっかけになったことと、大変嬉しく思っております。

受賞作品集は「最優秀作品賞」に選ばれた21作品の紹介を中心に構成しております。
こころあたたまる手紙ひとつひとつを是非お読みいただければ幸いです。

ファミリーマートはこれからもお客さま一人ひとりと強く、深くつながり、「気軽にこころの豊かさ」を感じていただける、
一番身近なコンビニエンスストアチェーンになることを目指してまいります。

次回もたくさんのご応募をこころよりお待ちしております。

平成27年 1月吉日

株式会社 ファミリーマート

代表取締役社長 中山 勇



ありがとうの 手紙 てがみ コンテスト 2014

今年度6回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国20,852校・660万人の児童に向けてご案内し、結果6月1日から9月30日の4ヶ月間で、応募総数43,139通ものところあたたまる作品をいただきました。甲乙付け難い力作の中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介しております。

<http://www.family.co.jp/arigatou2014>

- 最優秀作品賞受賞作品紹介 P.5
- 審査員特別賞受賞者紹介 P.26
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介 P.30

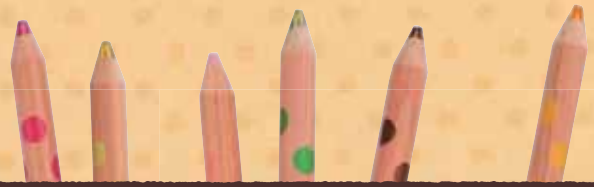
こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」活動の代表的なものをご紹介します。これらのこどもを応援するさまざまな活動を通じて、家族を、地域社会を、未来の社会を応援していきます。

- その他の活動 P.33



審査員講評



審査員長



フリージャーナリスト
池上 彰

今の社会にはメールや無料通話アプリが普及し、文章で表現して相手に思いを伝える機会が減ってきました。だからこそあえて「自分の手で書く」という貴重な機会になっているのがこのコンテストだと思います。子どもたちが「ありがとう」と「手紙」という2つの要素から、誰にありがとうを言おうかと考えていくなかで、普段言えなかった人に感謝の気持ちを伝えることができたり、思いがけないところで助けられたりしていたことに気づくことができる機会になったことも素晴らしいですね。今回の作品にもはっとするような表現や、大人の決まりきった表現ではないこどもらしい新鮮な表現があります。ありがとうという気持ちを言葉で表現することで、国語や道徳の要素も兼ね備えた、まさしく総合的な学習の教材になりうるものではないでしょうか。どの作品も私たち大人を感動させてくれます。6年間継続することで、言葉の力、手紙のもつ力強さを再認識させてくれるコンテストに育ってきたように思います。

ありがとうの手紙^{でがみ}コンテスト2014

審査員講評

主催 株式会社 ファミリーマート

後援 全国連合小学校長会／全国市町村教育委員会連合会／全国小学校国語教育研究会／全国小学校道徳教育研究会／全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／生活科教育研究会／社団法人 日本家庭生活研究協会／株式会社 教育新聞社

応募期間 平成26年6月1日(日)～9月30日(火)

応募資格 小学校1年生～6年生

審査 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定

最優秀作品賞 低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名
中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名

※全国を7ブロックに分割し、審査を実施

審査員特別賞 各ブロック5名 合計35名

学校・団体賞 各ブロック1校・団体 合計7校・団体

応募総数 43,139通

最終審査会 平成26年11月14日(金)





児童文学作家

こやま 峰子

とても素敵なコンテストに最初からご一緒させていただいていることは本当にうれしいことです。今回も、家族や先生、ベツに「ありがとう」という感謝を抱くだけでなく、そこで感じた気持ちの動きや、これからの未来への思いがとても素晴らしい文章で表現されていることに感動しながら審査をさせていただきました。4万を超える数多くの作品が寄せられているのは、企画が素晴らしいことが何より大きい理由だと思います。このコンテストが広がることで、混沌としている世の中に「ありがとう」という言葉が広がっているということが何よりうれしく思います。今から次に出会える作品が楽しみです。



株式会社 小峰書店
代表取締役社長

小峰 紀雄

生きることは、人びとや世界との絆を発見することです。このコンテストが始まってから6年になります。この間、たくさんの子どもたちが、素晴らしい絆を発見してきたのではないのでしょうか。「ありがとう」という言葉をきっかけにして、子どもたちは、身近な人びとから世界まで生きる絆を発見し、想像力を広げてきました。特に、毎年のように何百通も応募してくださる学校がありますが、このコンテストが教育の場で活用されているのは貴重なことだと思います。年々、子どもたちの言葉や絵の表現力が豊かになっていますが、先生方のご指導の賜物ではないかと思ひます。「ありがとうの手紙コンテスト」が、子どもたちの生きる力を育み、ますます広がり、盛んになることを期待しております。



日本ペンクラブ常務理事・
「子どもの本」担当役員

野上 暁

身近にいる家族や友人から、自然や文房具などの持ち物まで、回を重ねるごとに感謝の気持ちを伝える相手が広がってきたのはおもしろいですね。おじいちゃん、おばあちゃんへの手紙が多かったなかで、相手の気持ちを細やかに汲み取りながら、書き手と自分とのつながりや絆を丁寧に書いているものが今回は多かったと感じました。6年間コンテストを継続してきた成果なのでしょうね。また、毎年取り組むことで、学校や先生方のなかでの意味づけも変わってきているようにも思えます。表現の工夫にも毎回新しいものが登場し、審査がとても楽しみです。応募する学校も子どもたちも、楽しみながら感謝する気持ちを見つけてきているようで、それだけ定着してきたのでしょうね。口では照れくさくて言えない「ありがとう」を、手紙だから伝えられると書いていた作品が幾つか目につきました。そういうところにも、このコンテストの大きな意味があると思ひます。学校でも家庭でも、親子でも夫婦でも、「ありがとうの手紙」がどんどん広がっていくと素晴らしいですね。



株式会社 ファミリーマート
常務取締役 常務執行役員

北村 喜美男

4万通を超える、たくさんの素晴らしい作品、子どもたちの感謝の気持ちに出会うことができたことを大変うれしく思っています。作品をお寄せいただきました先生方、保護者のみなさま、そしてご後援を賜りました諸団体の先生方に、こころより御礼申し上げます。ありがとうの対象は、身近な人だけでなく、自然、動物、モノまで多岐にわたることに、こころの豊かさを感じるとともに、子どもたちが日々の生活のなかで、いろいろなありがとうと出会っていること、こんなにも鋭く、深く考えていることに感動いたしました。多くの子どもたちがこれからも感謝の気持ちを続けて成長してほしいと願っております。ファミリーマートは、「家族」という言葉を社名にいただいた企業です。本コンテストを通じて得たことを我々のサービスや商品に生かし、社会・生活インフラ企業として更に何ができるのかを改めて考えながら、取り組んで参りたいと思ひます。未来を担う子どもたちに、人を思いやる気持ちを「文字」「言葉」として伝えることの大切さを、感じ・気づききっかけづくりとなれるよう、今後もこのコンテストを続けていきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

大きな かぞくのみんなへ

ママ、パパ、ばあちゃん、いつもおいしいごはんをつくらせてありがとうございます。
 パパのチャーハン、ママのカレー、ばあちゃんのとろりりつけもの、みうは大好きだ。
 うちで食べたおいしいおごはんと、べっおいしいな、おとうさんのごはん、
 毎日じいじとばあばりや大じいおせわしてもらったおごめだから、みうは
 ちゃんとしているよ。

この前、じいじにいわかりをして大へんごまで思ったと、じいじがすて
 じいじのおごめをかきかきにいれてくれたこと、かーばんたのしきたよ。
 きれいな「おごめをバクバクたべていんみたいやうにやう!!」みうも
 たんさんたべて大きくなりたいたよ。ママがつくってくれたカレー
 には玉ねぎ、にんじん、じゃがいもも入っているね。みうはじいじには
 じんがすきたよ。ばあちゃんがつくってくれるきゅうりのつけものも、あつ!
 おうちのりゅうりにつかうやさい、じいじとばあばが火であいどうして
 くれたやさいだね。毎週土曜日、じいじとばあばが火であいどうにつく
 りてくれるのが、みうはじいじのいいよ。

じいじとばあばとばあちゃんには、毎日おごめがないけれど、おいしい
 ごはんの時期になると、いつもありがとうございます。おごめのことで、大きな
 パパとママとおおじいじにおいしいおごめがたべられることがみうはじいじで
 うれいです。元気が出て、あわせいはいの気持ちになれると、みうのかた
 はせかいいろあわせ「アッ、アッ、アッ!!」大きなかぞくのみんな、いっ
 ちありがとうございます。

みうより

審査員から

いぬが びょうしゃ そふぼ たんせいこ やさい こめ た かんしゃ
 稲刈りの描写、祖父母が丹精込めた野菜や米を食べるときに感謝

きも かん ひょうげん たいへん
 の気持ちを感じるという表現がこどもらしく、また大変うまい。

低学年
の部

最優秀
作品賞

北海道・東北 ブロック

むらた みう
村田 美海さん(2年)
 燕市立燕東小学校



福島

新潟のみなさんへ

東日本大震災の後、二年間新潟市へ自主
 移住して、いました。親戚や知り合いがだれもいなくて、
 お母さんとぼくと弟の三人で毎日不安な気持ちで
 すみして、いました。福島に仕事で二人のうた、お父さんのこと
 もとても心配でした。

けれど、新しい小学校に転校して、少しずつ友達ができる
 よつになって毎日が楽しくなりました。先生方もいろいろなことを
 をやさしく教えてくれました。

それから、近所のおばあさんは畑でとれたばかりの野菜をわけ
 てくれました。そのおかげで、ぼくはもともと野菜が大好きになり
 ました。

新潟のみなさんのおかげで、ぼくは二年間新潟でたくさん思
 い出を作ることができました。いつかおれいができるようにたくさ
 ん勉強をして、はな大人になりたいです。
 新潟のみなさんありがとうです。

遠藤 蓮



新潟

審査員から

ぶんしょう ないよう は え ちからづよ たいへん ひさい
 文章、内容、貼り絵ともに、力強く大変よくまとまっている。被災
 こ 後のひとつひとつの出来事とその思いが、目にうかぶように表現
 できごと おも め ひょうげん
 されている。

中学年
の部

最優秀
作品賞

北海道・東北 ブロック

えんどう れん
 遠藤 蓮さん(4年)
 郡山市立芳賀小学校

木 緑さんへ



朝起きると目に飛び込む緑、
やさしく、力強く呼びかけ、うたえてくる。
「今日もがんばれ」と。
そう見えるいつもの景色。だが、いつも何も
気かけずに過ごしていても見守、てくれていた。

ある日、「ウィーン、ウィーン」という音が目を
覚ました。何だろうと辺りを見回すと、立派な木
が切られていた。「こんな所でも開発が始まった



のか」と思うだけで気にかけなかった。だが、心と目に行く景色を見ると、
小さな丘の木が全て切られていた。さびしい気持ちになった。



大切なものは、無くなり過ぎたから真の価値が分
かるものだ。こうしてごく一般的なもの「緑」の大切さが
分かった。

ほくも緑の仲間になりたいと思い野菜づくりを始めた。



小さな種を植え、水をあげて育てる内に生き物という自覚が
芽生えた。相手のことを考え、肥料やり、草とりをした。
夏も盛りの日、ついに真・赤な実をつけた。
あたりには虫が飛び交っている。

そんなムンムンとした暑中、実をいじり、スーパーで買ったものを
パリパリがみながら、グチャッとはじけた。

この体験を通し、周りのごくふつうの緑のありがたさを感じた。
緑さん、ほんとうにありがとう。

審査員から

しぜん かんしゃ してん たいへん みぞか ふか
自然への感謝の視点が大変ユニークで、ごく身近なことに深く

かん どくとく ひょうげん やさい ひょうげん
感じながら独特の表現をしている。野菜づくりにまつわる表現は

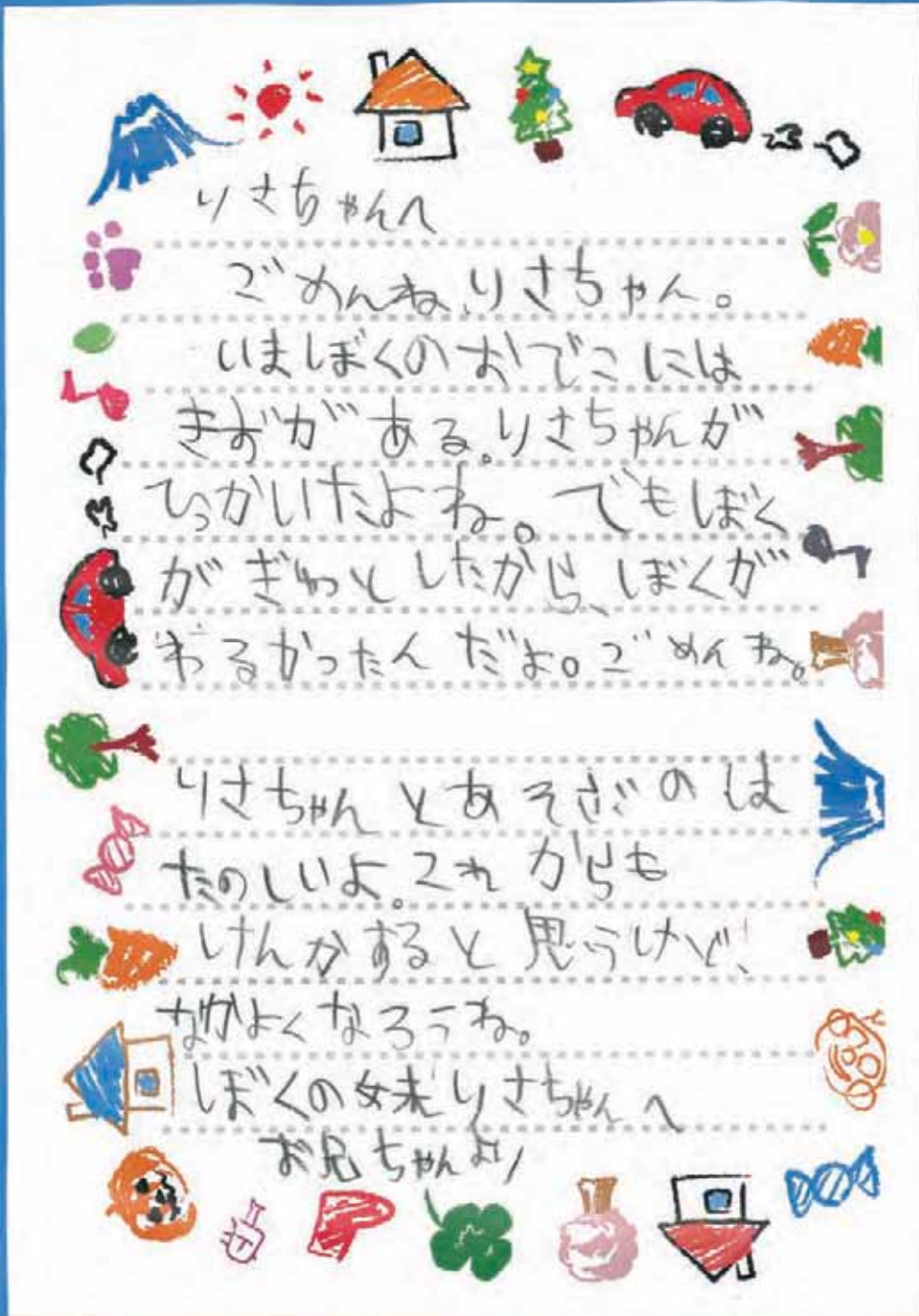
とてもうまい。

高学年
の部

最優秀
作品賞

北海道・東北 ブロック

かとう まさひろ
加藤 真広さん(6年)
八幡平市立田頭小学校



審査員から

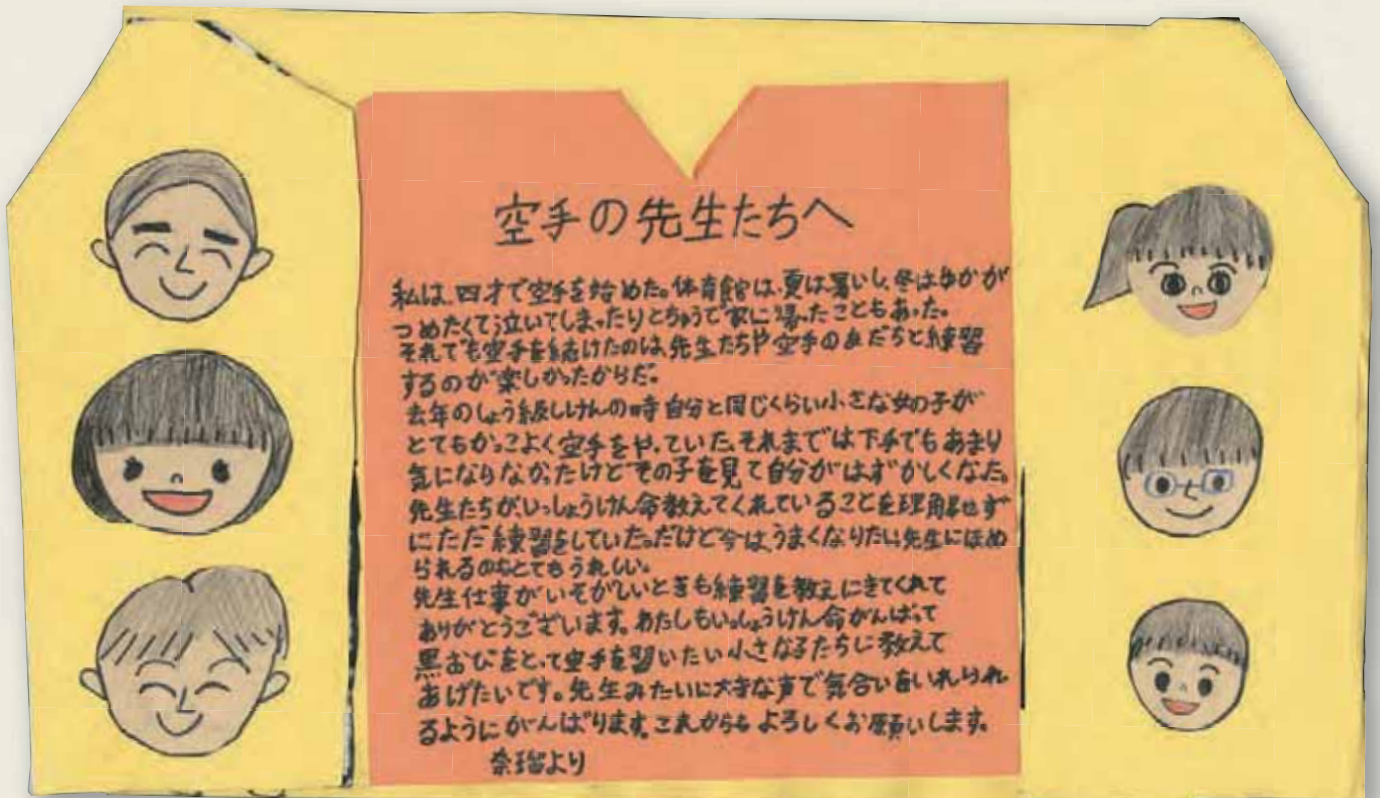
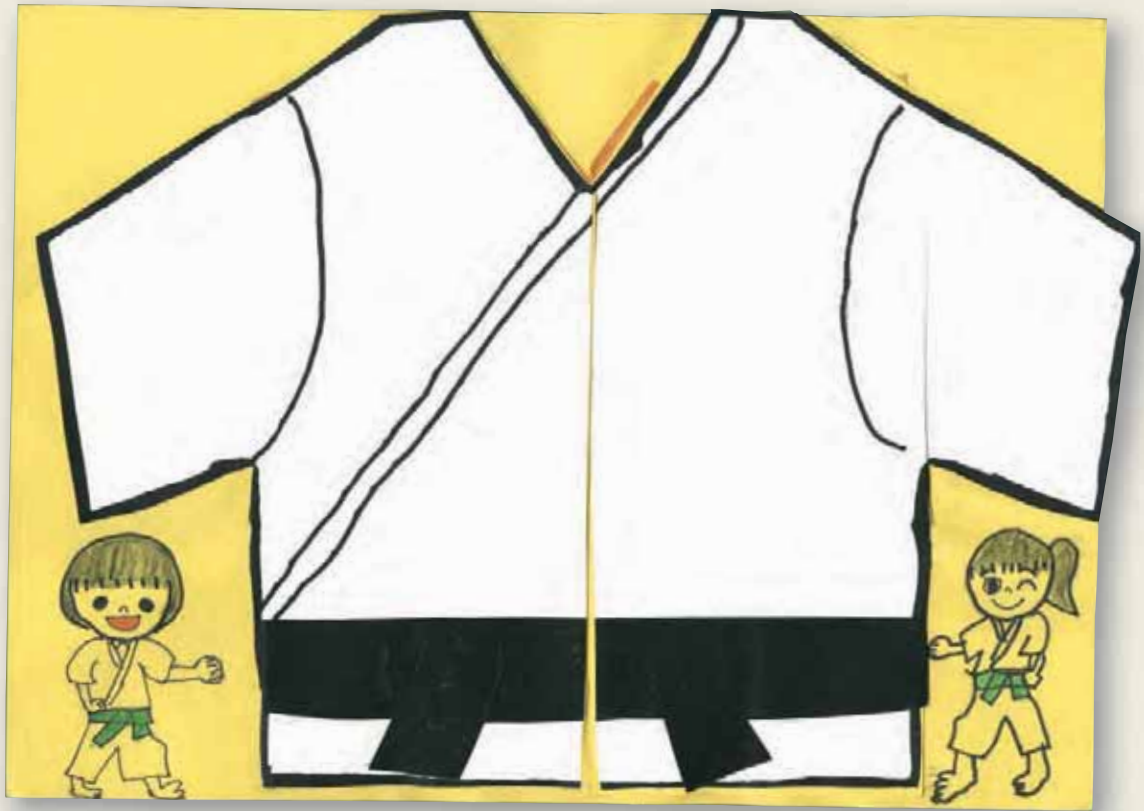
いもうと おも あに けつ い ぶんしょう つづ
妹への思いと、兄になった決意がとてもほほえましい文章で綴ら
れている。なか きょうだい ふれあいの ようす め
様子が目にうかぶ。

低学年
の部

最優秀
作品賞

関東1 ブロック

こうやま はるき
高山 陽樹 さん(2年)
二宮町立山西小学校



空手の先生たちへ

私は、四才で空手を始めた。体育館は、夏は暑い、冬はちかか
つめたくて立ってしまったりとやうに家に帰ったこともあった。
それでも空手を始めたのは先生たちや空手のまじりと練習
するのを楽しめたからだ。
去年のしゅうげんけんの時自分と同じくらい小さな女の子が
とてもかこよく空手をやっていた。それまでは下手でもあまり
気にならなかったけどその子を見て自分が「はオ」かしくな
先生たちがいしゅうけん命教えてくれていることを理角せず
にただ練習をしていただけと今はうまくなりた先生にほめ
られるのをとてもうれしい。
先生仕事がいそがしいときも練習を教えに来てくれて
ありがとうございます。わたしもしゅうけん命かんはて
黒おびをとり空手を習いたい小さな子たちに教えて
あげたいです。先生みたいに大きな声で「気合いよいれりれ
るよ」にかんはります。これからよろしくお願ひします。
奈瑠より

審査員から

からて とお まな しゅうきゅうしけん けんがく
空手を通して学んだことを、昇級試験を見学したエピソードを
とお ひょうげん うま かんしゃ きも
通してしっかり表現し、そこから生まれた感謝の気持ちをまとめて
いる。道着の形もよい。

中学年
の部

最優秀
作品賞

関東1 ブロック

やながわ なる
柳川 奈瑠さん(3年)
横浜市立岸谷小学校



お母さんへ

私は前にお母さんに、「どうして私だけ耳が聞こえないの？」って聞いたことがあったよね。そうしたらお母さん、こう言ってくれたよね。

綾音は耳が聞こえないという障害を持って、生まれたけど、障害はそれを乗り越えられるだけの力を持っている人にしか神様から与えられないんだとお母さんは思っているよ。」って。私はあの時、すごくうれしくて泣きたくなくなっちゃったんだよ。

私は積極的でかんぱり屋だてよく言われるよね。私はそんな自分の性格気に入っているよ。たっってお母さんと似ているから...私はすぐにはあきらめない。かんぱり屋のお母さんが大好きだよ。

私はね、お母さん、今思うと耳が聞こえなくてよかった。と思っているんだ。なせかという耳が聞こえないからこそ私は色々な困難を乗り越えていこう、という強い気持ちを持てるようになったんだと思うから。お母さん、あの時の言葉、ありがとう。そして、一生けん命私をうんでくれてありがとう。

綾音より



審査員から

はは ことば みらい おも すなお ちからづよ
母の言葉をきっかけに、未来への思いを素直に、そして、力強く

ひょうげん はは こ つた おも おも う こ
表現している。母から子へ伝える思いと、思いを受けとめた子

はは かんしゃ きも むね
から母への感謝の気持ちが胸をうつ。

高学年
の部

最優秀
作品賞

関東1 ブロック

かべや あやね
神谷 綾音 さん(5年)
横浜市立勝田小学校



夏休みのさいしよの旅行で私がゆ
びに大けがをした時に泣いてる私を
安心させてくれてありがとうござい
ました。血だらけのVPはいたが
たけど、それより私はテレビ
で見たことのある手術の場面
を思い出して、こわくてまは
せんでした。おじさんは、「だ
いじょうだよ。おじさんはなんにも
しないから」となんともなしと
言ってくれましたねだから私は

こわがたけどおじさんをしんじてや
とぎゅうきゅう車にのることができまし
た。びょうしよではおじさんは、
本当にいたいことをしませんでした
私はあふかた。おじさんの言うとおり
たった。と思いました。

ほつたいをまいてもらってからおじさん
をかかしたらもういなかたので、おれ
がまかせんでした。でも今はおじさん
のおかげでえんぴつがもてるふうにな
たので、お筆紙を書くことにしました。

おじさん私を助けて
くれてありがとうござ
いました。



ゆいゆい

審査員から

けがをした自分を助け、励ましてくれた救急隊の人へ言えなかった
感謝を、えんぴつが持てるようになったから手紙で伝えたいと
いう絶妙な表現であらわしている。

低学年
の部

最優秀
作品賞

関東2 ブロック

村山 結愛さん(2年)
三郷市立新和小学校



ママへ

いつも、そうじやせんたくをしてくれてありがとう。ママ、そうじをしてくれ
るおかげで、家に帰ると落ち着くし、せんたくしてくれた服を着ると、ママの愛の
香りがするよ。それにおいしいごはんをつくってくれると、ママの味はまほう
みたいに私を元気にしてくれるよ。そのおかげで次の日も元気に学校に行けるよ。
でも、ごはんをつくってくれたり、そうじをしてくれたりするよりも、と私が伝
えたいのは、「私を産んで一生けん命を育ててくれてありがとう」という気持ち。
今私がここにいても、ママが苦しい思いをしながら私を産んで育ててくれ
たからだと思ってる。ママといっしょに居るだけでも楽しくなるんだと思うよ。私はママ
からももらった愛で生きてきたから、私かもう少し大きくなったら愛をもっとい
やしやママに返すよ。だから私か愛を全部返すまでです。と長生きしてね。

審査員から

まいにち かじ はは きも かんざつりよく どくじ
毎日家事をしてくれる母への気持ちを、こまやかな観察力と独自
の視点と表現で書いている。カード型で、動かすと感謝の気持ち
あらわ しか こうかてき
が現れるという仕掛けもおもしろく、効果的。

中学年
の部

最優秀
作品賞

関東2 ブロック

はた らんか
富蘭華さん(4年)
千葉市立扇田小学校



マメへ、
 十年間ありがとう。今まで遊んだ日々を、りかえると、たとえ君が犬でも人間のように見えて君は、きらきらと光っていたね。
 ぼくが小さい時に泣き出すと君は、ぼくの女にワンワンと鳴いて孝文えてくれたよね。今でもおぼえてるよ。マメに会いに行くことが、ぼくの一つのたのしみでもあったよ。ぼくが三年生になって泊まりに行くと、君はぼくに飛びついてきた。いっしょにねることもあった。散歩に行き水たまりで遊んだこともあった。どろだらけでおこられたよね。この思い出は今でも覚えてるよ。でも君との楽しい日々は、糸がなくなかった。ある日、君は目を閉じ座布団の上にくたりと倒れていた。それを見たぼくは、ねているようにしか理解できなかった。でもしだいにぼくの間から涙が出た。涙は、あふ、れて止まらなかった。そして君に近づき体をなでた。
 本当に今までありがとう。君とすごした日々は、たれないよ。大女子きたよ。 聖紀より

審査員から

うま ころ いっしょ す 生まれの頃から一緒に過ごしてきた犬への気持ちが思い出とともに書かれている。おも よ すす 思わず読み進めてしまうまさと、愛犬との別れの表現が素晴らしい。

高学年
の部

最優秀
作品賞

関東2 ブロック

あらい まさき
新井 聖紀さん(5年)
川越市立上戸小学校

そうくんへ♡
 もうすぐ4さいになるね。そうくんは、ダウンしょうという
 しょうがいをもって生まれてきたけれど、わたしにとっては、
 かわいいおとうとだよ。
 小さいころは、ひょういんばかり行っていたから、しんで
 しまうのかなと、しんぱいしたよ。
 でも今は元気いっぱいだね。
 とときわたしは、一人っ子だったらおとうさんとおかあさんを
 ひとりじめできたのになあ、そうくんが、さげんたり、しゃましたり
 するとさいなけはいいめになあと思うことがあるよ。
 でもわたしが休みの日に、そうくんがうえんしている
 ときはやっぱりさみしくなるよ。
 わたしがはしりたすと、おいかけてきたり、
 プールではお水のかけあっこができるようになったり、
 いしゃにあそべることが多くなったね。
 まだことはしゃべれないけれど、しゃべれるように
 なったらいっぱいおはなししようね。せいちょうは、ゆっくり
 だけど、ちょっとしたことができるようになるととってもうれしいよ。
 大きくなったらおにごっこやサッカーをしようね。字を書いたり、べん強
 も教えてあげるね。そうくん、わたしのおとうとに生まれてきてくれて
 本当におかたう。 　　いつかこのお母氏をよんでね。



審査員から

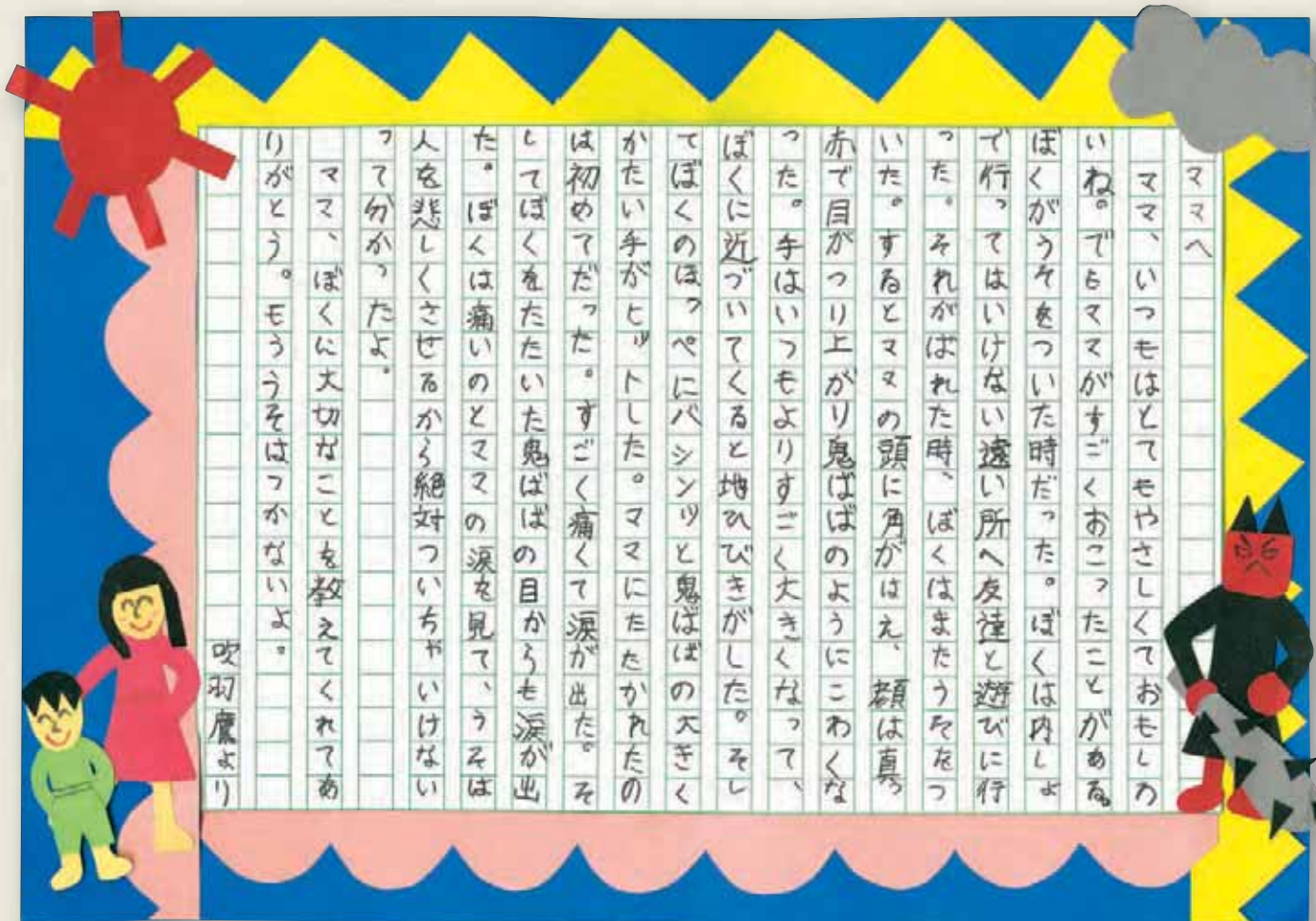
しょうがい も おとうと おも せいちょう たの おね
 障害を持つ弟への思いと、成長を楽しみにしている姉らしい
 きも りょうしん ひと じ おも ふくざつ
 気持ちを、両親を独り占めしたいと思ってしまったという複雑な
 おも まじ ひょうげん
 思いを交えながらうまく表現している。

低学年
の部

最優秀
作品賞

中部・東海 ブロック

おおば かえ
大場 香依さん(2年)
 浜松市立雄踏小学校



審査員から

うそ じぶん はは かな きも さと
嘘をついた自分をしかつた母の、とても悲しい気持ちを悟つた
ことりんじょうかんをひょうげん臨場感のある表現で大変うまくまとめている。母の教えた
ことうをしっかりと受けとめてるのがよい。

中学年
の部

最優秀
作品賞

中部・東海 ブロック

まつざき ふうた
松崎 吹羽鷹さん(4年)
浜松市立大平台小学校



審査員から

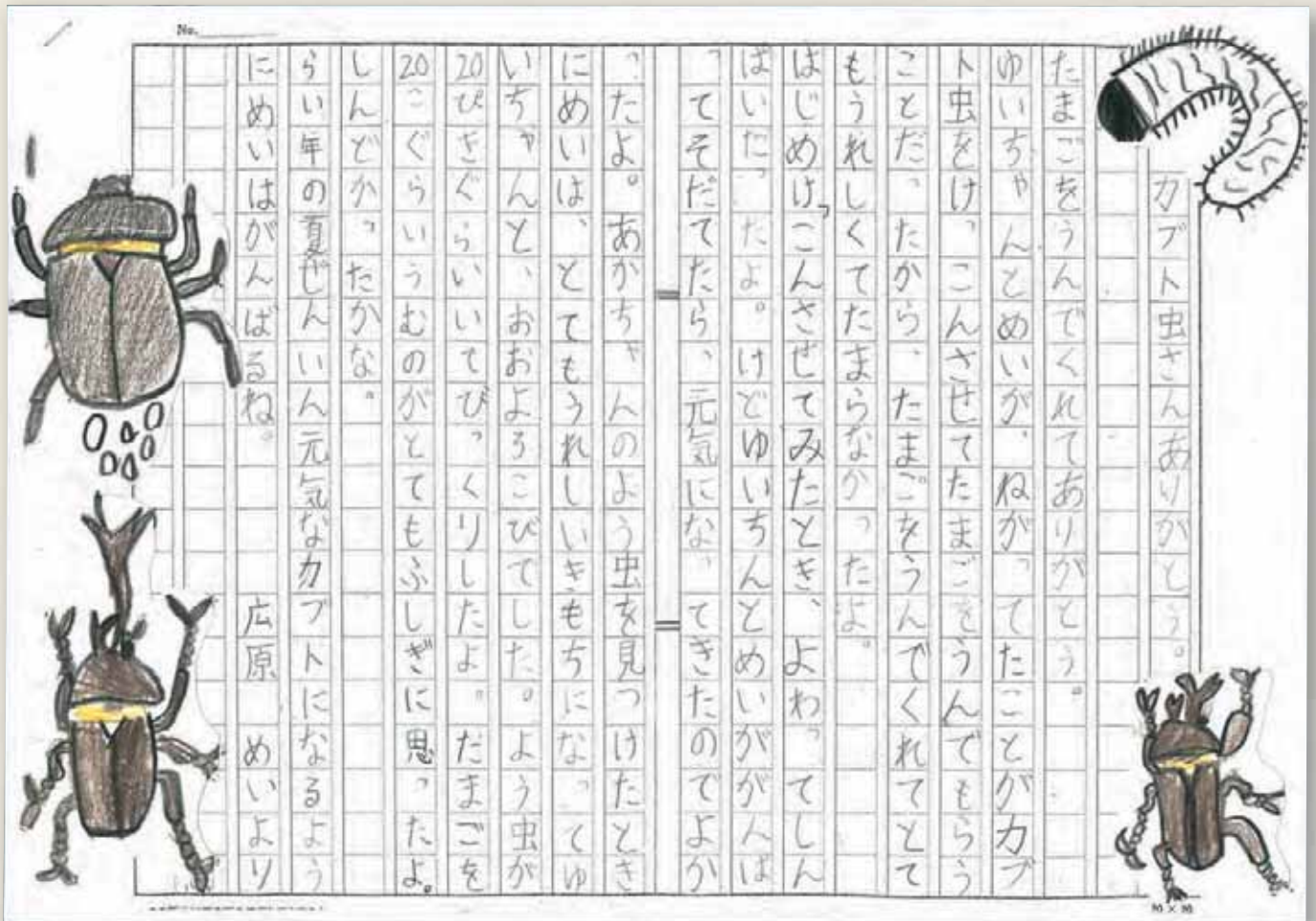
こうせい すば や すず おな どう かお
構成が素晴らしい。読み進めていくと、同じお父さんの顔でも
ないよう ぶんみやく きも あらわ ひょうじょう か わ
内容や文脈によって気持ちを表すように表情を書き分けている
りきさく
力作。

高学年
の部

最優秀
作品賞

中部・東海 ブロック

さとう みう
佐藤 美羽さん(6年)
静岡市立蒲原西小学校



審査員から

カブト虫を育てることを通して、命の大切さ、命が受け継がれて
 いくことをしっかり学んでいることがわかる。カブト虫の結婚と
 いう表現がこどもらしく新鮮。

低学年
の部

最優秀
作品賞

関西 ブロック

ひろはら めい
広原 愛唯さん(2年)
 堺市立福泉中央小学校




4年3組のみんなへ
北川先生へ

1学期、ぼくはかぜをこじらせて入院をしました。学校に行けなかったことがやらかして、学校にいけないことがそんなある日、クラスのおみんなから手紙がとどきました。ぼくは、学校でまってるよ。一人一人が心のこもったメッセージを書いているのをみました。ぼくは、みんなの気持ちが伝わって、学校へ登校できなくなりました。学校へ登校できなくなると、声をかけてくれた友達に、お礼がしたいです。ぼくは、みんなの気持ちが伝わって、学校へ登校できなくなりました。学校へ登校できなくなると、声をかけてくれた友達に、お礼がしたいです。

4年3組のみんなへ
北川先生、ありがとうございました。

ゆうすけ



審査員から

素晴らしい先生とクラスメートの気持ちがあふれている手紙。

学校に行けない悔しさ、不安と、皆の励ましが救ってくれたという

エピソードがうまくまとめられている。

中学年
の部

最優秀
作品賞

関西 ブロック

南部 雄亮 さん(4年)
草津市立矢倉小学校

みゆちゃん生まれてきてくれてありがとう!!

初めて病院で会った時
「こんなに小さいんだね」と思ったよ。
手足は小さいのに、
つめはきれいに
のびていたよ。
かみの毛はフサフサだね。
赤ちゃんの良いにおい
もするね。
足のかかとには、
食べたごのこないはうな
高級な和紙みたいに
やわらかいんだね。
たまに笑ったり、あくびをしたり
するのほものすごくカワイイね。
指をにぎってくれるのも、
ものすごくカワイイよ。
泣いた時の顔や泣き声も
ものすごくカワイイよ。



早くハイハイしたり、
歩いたりしないかなあ。
散歩に行けるようになったら、ベビーカーを
おしてあげたいなあ。
みゆちゃんが大きくなったら、おまごをして
遊ぼうね。
もうちょっと大きくなったら、
おにごっこをしたり、
かくれんぼをしたりして
遊ぼうね。
初めて犬を見た時、
こわがりな顔で、しははい
などであげると、かわいくなるよ。
海に連れて行ってあげたいなあ。
浪がこっちへ来た時、向こうへ行ったり
するのほ楽しいよ。海はものすごくきれいだよ。
夕焼けの海は、ものすごくきれいだよ。
楽しいことがいっぱい持っているよ。
素直で「やさしい子」に育てね。

松野良哉より

審査員から

生まれてきたばかりの妹への兄の優しさが、絵と合わせて全体
から伝わってくる。妹の様子描写、歳の離れた兄らしい思いの
表現、いずれも大変うまい。

高学年
の部

最優秀
作品賞

関西 ブロック

まつの よしや
松野 良哉さん(5年)
神戸市立福池小学校



本さんへ

いつも本のせがいでいっしょに読んでくれてありがとう。
 ぼくは本の中で「何という本が好きか」というと、
 「ガムとケロの空のたむけ」です。ぼくは、この本が「いちばん
 好きです。友達が「ちともいっしょに読んでみたりでお
 本のえがうごいてるようにかかれたいのか
 好きです。ぼくは、本のおかげでえがおになっ
 たり何かまっているんだらう。と気づかいうきう
 きしてきます。かなしいときはこの
 本をよんだらえがおになれ
 ます。だからぼくは、本が大好き
 です。本をたいせつにした
 いです。



審査員から


ほん たい かんしゃ きもち が、す ほん とお ひょうげん
 本に対する感謝の気持ちが、好きな本を通してこどもらしく表現
 されている。ほんのおかげでえがおになる、うきうきするという
 ぶんしょう
 文章がとてもこまやか。

低学年
の部

最優秀
作品賞


中国・四国 ブロック

うの こうしろう
 宇野 晃志郎さん(2年)
 丸亀市立城西小学校




大好きなコート君へ

君と会えなくなつてから2年が過ぎようとしている。
おじいちゃんの家へ行くときずっといっしょにいたね。
君とやるキャッチボールが一番楽しかったよ。
ぼくが失敗したボールはぜひ取りに行つてくれたね。
それでもなんだか笑えな。
ピザが大好きだよ君。食事の前に少しつまんでしがね。
今ではぼくも大好きになつたよ。
泣いてばかりいたぼくのとなりでいつもそばにいてくれたよね。あつたかく安心していたんだよ。またいっしょに寝ねがしたいな。でも夏休みはかんでんいる。暑いから。
いつの間にか君は大きくなり、ぼくの前を歩いていた。
遊びに行く度にだんだん歩けなくなつてきた君。それでもぼくといっしょにキャッチボールをしつづけた。ぼくは前よりも上手に投げられるようになったよ。
これからぼくは君の目となり足となり、君といっしょにいろんなことにチャレンジするよ。
君の代わりにはなれないけれど、少しさみしそうなおじいちゃんとおばあちゃんを君の分を笑顔にしたい。
またいつかいっしょに昔々歩で歩きたいな。
楽しい時をありがとう。
天国のコートへ



石原ゆう



審査員から

そふ いえ あいけん す たの おち で とお かんしゃ きも
祖父の家の愛犬と過ごした楽しい思い出を通して、感謝の気持ち
おく てがみ さいご いっせつ な ちから お
を送った手紙。最後の一節で亡くなったことがわかり、力を落とす
そふぼ おも かた
祖父母への思いが語られている。

中学年
の部

最優秀
作品賞

中国・四国 ブロック

いしはら ゆう
石原 優さん(4年)
岡山市立浦安小学校

北野先生へ

北野先生、四月の足の手術ありがとうございました。おかげで、足も随分よくなりました。足の曲げ延ばしをして、筋肉を付けて、早く真っ直ぐ歩けるように頑張っています。二学期中には、車イス無しで歩きたいです。先生にお世話になって、もう八年になります。先生のおかげで、運動場で走ったり、外遊びも、水泳も、たくさん運動が出来るようになりました。本当にありがとうございます。土日も休み無しで、朝から晩まで仕事をしています。時々、先生の体が大丈夫かと心配になります。先生は、中学校の時に、今の医療センターに入院して、その時診てくれた先生に出会って医者を目指したと聞きました。ほくも、来年中学生です。自分の目標に向かって進みたいと思います。先生は、いつも笑顔で話をしてくれるので安心します。これからも体に気を付けて、全国の患者さん達を助けてあげてください。

湊忠聖より

審査員から

ながねん じぶん あし ちりょう いしや かんしゃ きも
長年、自分の足を治療してくれているお医者さんへの感謝の気持ち。

うんどう よろこ つた いそが せんせい
運動ができるようになった喜びを伝えるとともに、忙しい先生の

たいちよう きづか きも しょうらい もくひょう
体調を気遣う気持ち、将来の目標までがうまくまとめられている。

高学年
の部

最優秀
作品賞

中国・四国 ブロック

みなと たださと
湊 忠聖さん(6年)
高松市立高松第一小学校

パパへ

パパ、いつもあそびてくれてありがとう。
 パパはやさしい人、おもしろい人、あそびたいと
 いったらすぐあそんでくれる人、よくそくし
 た、よくそくをかならずやぶんなかった。ほ
 くは、パパがいたなくなつてさみしいです。
 ぼくは今、パパのためにお水をかえたり、い
 は、いっばいがんばつてる。そして、べんきょうも
 がんばつて、パパみたいにしやち、うさ、んにた
 ように、がんばるから、天ごとでみてね、そして、
 パパ、ぼくの子どもに生まれかあつたら、ま
 たなまえをおんなじにしたい、また、いっしょ
 に、な、ようね、いっしょに、いっばい、な、た、べ、
 サッカーやボール、リング、トランプ、か、くれ、ん、ぼ、
 か、き、い、ら、し、よ、に、い、っ、ば、い、い、っ、ば、い、
 ぼくは、ガンのために、や、られ、な、い、よ、う、に、
 る、ね、お、穴、に、い、つ、て、も、い、つ、し、よ、に、あ、そ、ん、だ、
 とを、思、い、出、し、て、ね、ぼくは、パ、パ、の、こ、と、大、
 す、き、だ、か、ら、ね、お、ほ、い、と、い、て、よ、パ、パ、ぼ、く、
 を、う、ま、れ、さ、せ、て、く、れ、て、あ、り、が、と、う、つ、
 り、よ、う、す、け、よ、り

20 x 20

審査員から

な ちち す まいにち おも で いま じぶん まいにち がくねん
 亡くなった父と過ごした毎日の思い出と、今の自分の毎日を学年
 いじょう ちから ひょうげん じぶん ちち おな なまえ
 以上の力で表現している。自分のこどもに父と同じ名前をつけ
 びょうしゃ ちからづよ
 たいという描写が力強い。



九州・沖縄 ブロック

とまり りょうすけ
渡真利 良祐さん(2年)
 座間味村立座間味小学校

大好きお父さんへ

お父さんありがとう夜ねむれない時歌をうたったりお話をしてくれたりとありがとう。本当は夜、おせんたくをほしたりしないといけないのにわたしがねるまでそばにいてくれてありがとう。わたしは、でもおそく、10時くらいになって、ねるときもあるよね。せなかがかいたくてもねたあとにせんたくをほしてきているお父さん。ねるのは、11時すぎるよね。いつもありがとう、おふろは、妹とわたしとお父さんで入ることが多いよね。ゲームやなぞなぞをやることが多いけど、お父さんが「日をふりかえてみよう」と言てその日のことを話さね。お父さんはいろんなことを知っていて、教えてくれるのですごいな。お父さんはせなかがかいたくてもわたしと妹であそぼう、といったらいっしょにあそんでくれてありがとう。

お父さんが大好きわたしは、お父さんがきつならないようにおせんたくたみのお手伝いを、はいするからね。だからこれからよろしくね。お母さんのびょうきがはやくよくなるといいね。

かのんより



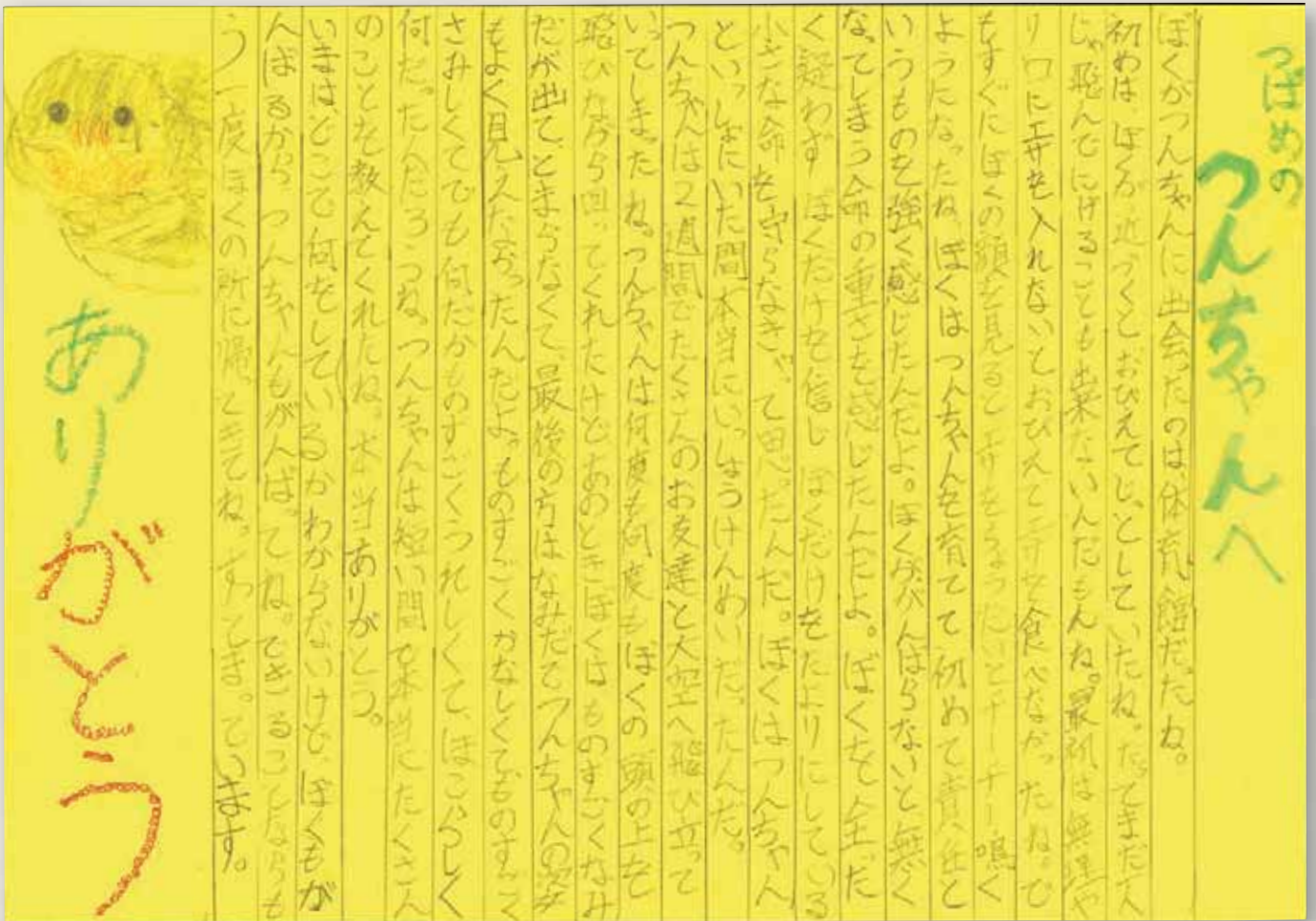
審査員から

自分のために家事をしてくれたり、体調がすぐれなくても仕事を頑張っている父への感謝の手紙。ほのぼのとした様子が書かれていて最後の一節で母が病であることがわかり胸をうつ。



九州・沖縄 ブロック

まつい かのん
松井 伽穩さん(3年)
 唐津市立大志小学校



審査員から

ふじ そだ すだ 無事育ち、巣立っていったつばめへの気持ちを綴った手紙。自分
 たよ を頼りにえさをねだる様子で、命の重さだけでなく、命への責任
 かん を感じとっていることが素晴らしい。

高学年
 の部

最優秀
 作品賞

九州・沖縄 ブロック

にしじま たくみ
 西島 拓さん(6年)
 岡垣町立海老津小学校



審査員特別賞

審査員特別賞は、多くの優秀な作品がひしめくなか、
惜しくも最優秀作品賞を逃した作品に贈られる賞です。
全国7ブロックから各5作品が選ばれました。

審査員特別賞受賞作品は、

ファミリーマートのホームページでも紹介しています。

<http://www.family.co.jp/arigatou2014>



北海道・東北 ブロック



しが はくと
① 志賀 珀斗さん(1年)
新地町立駒ヶ嶺小学校

たかさわ さき
② 高澤 桜季さん(2年)
郡山市立芳賀小学校

はしもと はな
③ 橋本 羽奈さん(4年)
郡山市立芳賀小学校

きくち まお
④ 菊地 真央さん(5年)
宮古市立小国小学校

にしど たくや
⑤ 西戸 拓也さん(6年)
伊達市立保原小学校

関東1 ブロック



たかい はるか
① **高井 遥**さん(1年)
逗子市立沼間小学校

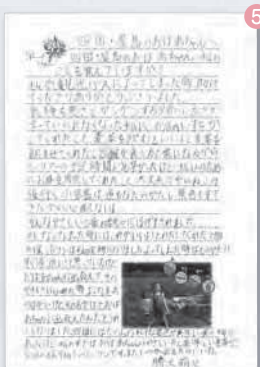
ささき ひでとら
② **佐々木 秀虎**さん(2年)
海老名市立東柏ケ谷小学校

よしもと みさき
③ **吉本 美咲**さん(4年)
横浜市立北方小学校

たかやま やすこ
④ **高山 泰子**さん(5年)
川崎市立東生田小学校

かにさわ おさむ
⑤ **蟹澤 理**さん(5年)
帝京大学小学校

関東2 ブロック



きくち こうすけ
① **菊池 孝輔**さん(1年)
所沢市立中央小学校

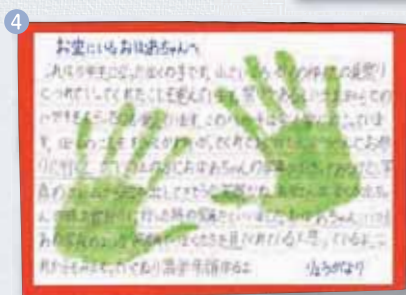
とうじょう かいせい
② **東條 魁星**さん(1年)
星野学園小学校

ふじもり ようが
③ **藤森 耀雅**さん(4年)
柏市立風早南部小学校

いりえ そうたろう
④ **入江 奏太郎**さん(4年)
浦安市立日の出南小学校

かつまた もも
⑤ **勝又 萌々**さん(5年)
我孫子市立我孫子第四小学校

中部・東海 ブロック



1 ^{ますぐち} ^{りかこ} **益口 莉侘子**さん(1年)
森町立森小学校

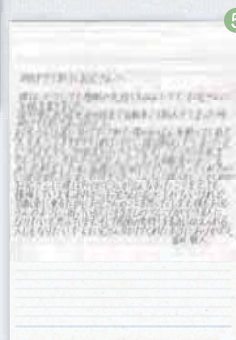
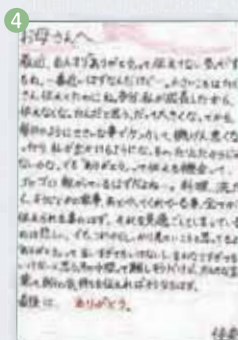
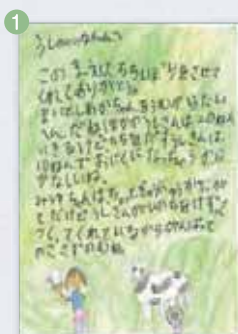
2 ^{さいとう} ^{こうた} **齊藤 孝太**さん(4年)
静岡市立服織西小学校

3 ^{わかほら} ^{ひろのり} **若原 弘典**さん(4年)
岐阜大学教育学部附属小学校

4 ^{みむら} ^{りょうが} **三村 涼河**さん(5年)
大垣市立中川小学校

5 ^{やぎ} ^{ちなつ} **八木 知夏**さん(6年)
名張市立百合が丘小学校

関西 ブロック



1 ^{きむら} ^{みゆな} **木村 実有那**さん(1年)
彦根市立城陽小学校

2 ^{かい} ^{しおん} **甲斐 獅音**さん(1年)
大津市立堅田小学校

3 ^{ささき} ^{まい} **佐々木 麻衣**さん(3年)
和歌山市立吹上小学校

4 ^{まつもと} ^{かな} **松本 佳奈**さん(6年)
堺市立深井西小学校

5 ^{とみた} ^{けん} **富田 賢人**さん(6年)
和歌山市立吹上小学校

中国・四国 ブロック



ほりぐち にこ
① 堀口 虹光さん(2年)
松山市立味酒小学校

すがはら さくら
② 菅原 桜花さん(3年)
丸亀市立城西小学校

たみたに つばさ
③ 民谷 翼さん(4年)
広島市立落合小学校

どうがね まこ
④ 銅金 真湖さん(6年)
広島市立伴南小学校

むぐるま なおや
⑤ 六車 尚哉さん(6年)
綾川町立羽床小学校

九州・沖縄 ブロック



のぞえ はるか
① 野添 遥香さん(2年)
鹿児島市立南方小学校

ときとう まさき
② 時任 正樹さん(2年)
宮崎市立憶北小学校

いけがみ まどか
③ 池上 窓香さん(4年)
始良市立柁城小学校

かまがた ちかぜ
④ 鎌形 千風さん(6年)
久留米市立西国分小学校

かたひら さえ
⑤ 片平 沙英さん(6年)
鹿児島市立武岡台小学校



学校・団体賞



学校・団体賞は、学校(クラス)、グループ単位で応募いただいたなかから、応募数が多く且つ、優秀な作品が多かった学校・団体に贈られる賞です。全国7ブロックから各1校が選ばれました。



北海道・東北 ブロック

ふくしまけん こおりやましりつ ひわだしょうがっこう

福島県 郡山市立 日和田小学校

校長先生
の
コメント

子どもたちにとって「ありがとう」の心を手紙で伝えることは、身近な家族や友だち、地域の方々への自分の気持ちを見つめ直すよい機会になりま

した。本校では、「思いやりのある子ども」を教育目標に掲げ、人との関わり合いのなかで相手をおもいやるころを育てています。これからも優しさ感謝の気持ちを持ち続け、自ら表現しようとする豊かな心を育てていきたいと思ひます。





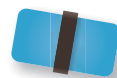
学校・団体賞

関東1 ブロック

神奈川県 川崎市立 東高津小学校

校長先生
の
コメント

本校では「笑顔が輝くひがたかっ子」をめざすために、今年度は特に「あいさつ」を大切にしています。コンテストのこことを知り、大切なあいさつである「ありがとう」という気持ちを手紙に書くという取り組みを行いました。学校・団体賞をいただき、みんなが笑顔になれました。ありがとうございました。



関東2 ブロック

埼玉県 川越市立 南古谷小学校

校長先生
の
コメント

昨年に引き続き、学校・団体賞をいただきありがとうございます。本校では、全校で「あったか言葉」を使うことを推奨しています。「ありがとう」という言葉を聞くと元気がわいてきます。うれしくなったり、ほっとしたりします。今回の受賞を励みにして「あったか言葉」を進んで使うことによって、こどもたちの豊かなこころをさらに育てまいます。



中部・東海 ブロック

愛知県 岡崎市立 六ツ美西部小学校

校長先生
の
コメント

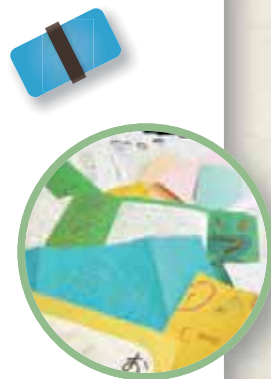
今年も、学区の老人クラブの方々から500枚もの手作り雑巾を寄贈していただきました。贈呈式でお礼の言葉を述べた代表児童が「心のこもった日本一のプレゼント」と表現しました。全校児童738名が「感謝の思い」で綴った手紙です。本受賞を、こどもたちとともに、職員一同こころから喜んでおります。



関西 ブロック

京都府 京都市立 太秦小学校

校長先生のコメント 学校・団体賞をいただきありがとうございます。日頃から「あいさつ」を大切にしたり取り組みを進めておりますが、「ありがとう」という言葉はこころを温かくしてくれます。「ありがとう」の感謝するところをこれからも大きく広げ、「えがお」がいっぱいの学校にしていきたいと思っています。



中国・四国 ブロック

岡山県 学校法人朝日学園 朝日塾小学校

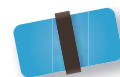
校長先生のコメント 三年連続の受賞となり、とても光栄だと感じています。本校の特徴でもある三年目を迎えた「表現科」の成果の表れだと喜んでます。そのなかでも「ありがとう」は、特に大切にしている言葉として、これからも大事に扱いたいと思います。



九州・沖縄 ブロック

福岡県 北九州市立 寿山小学校

校長先生のコメント この度の受賞、誠にありがとうございます。本校は、学年末に1年間お世話になった地域の方々をおよびして「ありがとうの会」を開催するなど、感謝するところを大切にしています。これからも感謝のこころを忘れない、寿山小のこどもたちであってほしいと思います。

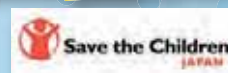




ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとするこども支援活動を通じて地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

グローバル防災(災害リスク軽減)教育

自然災害や気候変動に伴う異常気象への備えとしてグローバルでの防災・減災教育に2013年度より国際NGOセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)と協働で取り組んでいます。タイ、ベトナム、インドネシアの3ヶ国でコミュニティや学校を通じて、こどもたちが災害時の適応能力を高め、リスクへの対応能力を向上させることを目的に、教員研修、学校の授業での生徒への啓発活動、防災マニュアルの開発、着水泳等それぞれの国のニーズにこたえる支援を行っています。 ※この活動は店頭募金「グローバルこども募金」によりSCJと協働で実施しています。



グローバルこども募金

出店している各国・地域のこどもたちを支援することを目的に、店頭で「グローバルこども募金」を実施。お預かりした寄付は使途限定でSCJに寄付し、こどもたちの災害から命を守る教育(DRR)に活用されています。その活動の一環として防災(災害リスク軽減)教育に取り組んでいます。



森の教室

次世代を担うこどもたちに、日本人が森林と深く関わり生活をしてきたことや森林がもつさまざまな役割や大切さを伝え教える「森の教室」を、公益社団法人国土緑化推進機構とともに、保育園、幼稚園を中心に全国50ヶ所以上で実施しています。この活動をきっかけに、森を守り、森を育てる活動が各地に広がっています。

ファミリーマート夢の掛け橋募金

1993年にコンビニエンスストアとして初めて店頭で募金箱を設置。2006年からは、世界のこどもたちと地球の未来のために活動を行うNPO/NGOに寄付を行い、支援する「夢の掛け橋募金」として実施しています。募金していただいたお客さまと社会的な活動を行うNPO/NGOとの掛け橋として、寄せられた募金にファミリーマートのマッチング募金を合わせて4団体に寄付しています。

寄付先

- ・特定非営利活動法人 国連WFP協会
- ・公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- ・TOMODACHIイニシアチブ
- ・公益社団法人 国土緑化推進機構



ファミマものづくりアカデミー

ファミリーマートと生徒が、地域の食材を生かした商品と一緒に開発し、地域商品として商品化し、販売するのが「ファミマものづくりアカデミー」です。2010年6月から和歌山大学教育学部附属小学校のこどもたちは、和歌山県が育てあげたご当地スイーツ「わかやまポンチ」を普及させる「わかやまポンチプロジェクト」に取り組んでいます。地元愛にあふれるこどもたちが、地域の食材を生かし、コンビニスイーツができるまでの工程等を授業の中で学び、コンビニスイーツとしての「わかやまポンチ」を企画しています。商品化された「わかやまポンチ」は、プロジェクトにたずさわったこどもたち自身が店長となるお仕事体験「こども店長」で直接店舗で販売もしました。ファミマものづくりアカデミーは小・中・高・大学生を対象に実施しています。



出前授業

社員が小・中・高等学校へ出向き、それぞれの職能を活かして「ビジネスモデル」や「環境への取り組み」について講義を行う「出前授業」を実施しています。2012年からは、被災地支援として岩手県の大船渡市末崎中学校で「復興ワカメ販売」の総合的学習、接客方法やPOPづくりを教える授業も実施しています。

ベルマーク運動への参加

2008年4月より、ベルマーク運動に参加、全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けて販売しています。また、店頭には回収BOXを設置し、地域の小学校に店長がお届けしています。現在は被災地支援として店頭、本社、食品工場に寄せられたベルマークを東北の小学校にお届けしています。



こども店長

2009年より、コンビニエンスストアのお仕事体験にチャレンジする「こども店長」を実施しています。ファミリーマートのユニフォームに身を包んだかわいい「こども店長」が登場。お店のスタッフから商品の並べ方や、レジでのお客さま対応等を教わりながらファミリーマートの仕事を体験していただいています。参加したこどもたちからは、「すこし緊張したけれど、たくさん買ってもらえてすごく楽しかった」保護者の方からは、「働くことの楽しさと大変さをしっかり学んでもらえた」と好評をいただいています。



セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する安心拠点。地域、社会に安心を提供しています。





株式会社ファミリーマート
<http://www.family.co.jp>

